

俺はダムナーであり  
地球を支配する者



オロチの末裔 returns

きらく家せゆうへい



烏丸一族など  
ではない

聞いたか芭扇  
こいつを無力化し  
吐かせた後に  
すぐ地球へ向かう

ああ少なくとも  
リーダーとスイが  
捕まって能力を取られた  
可能性がある



オロチの末裔 returns



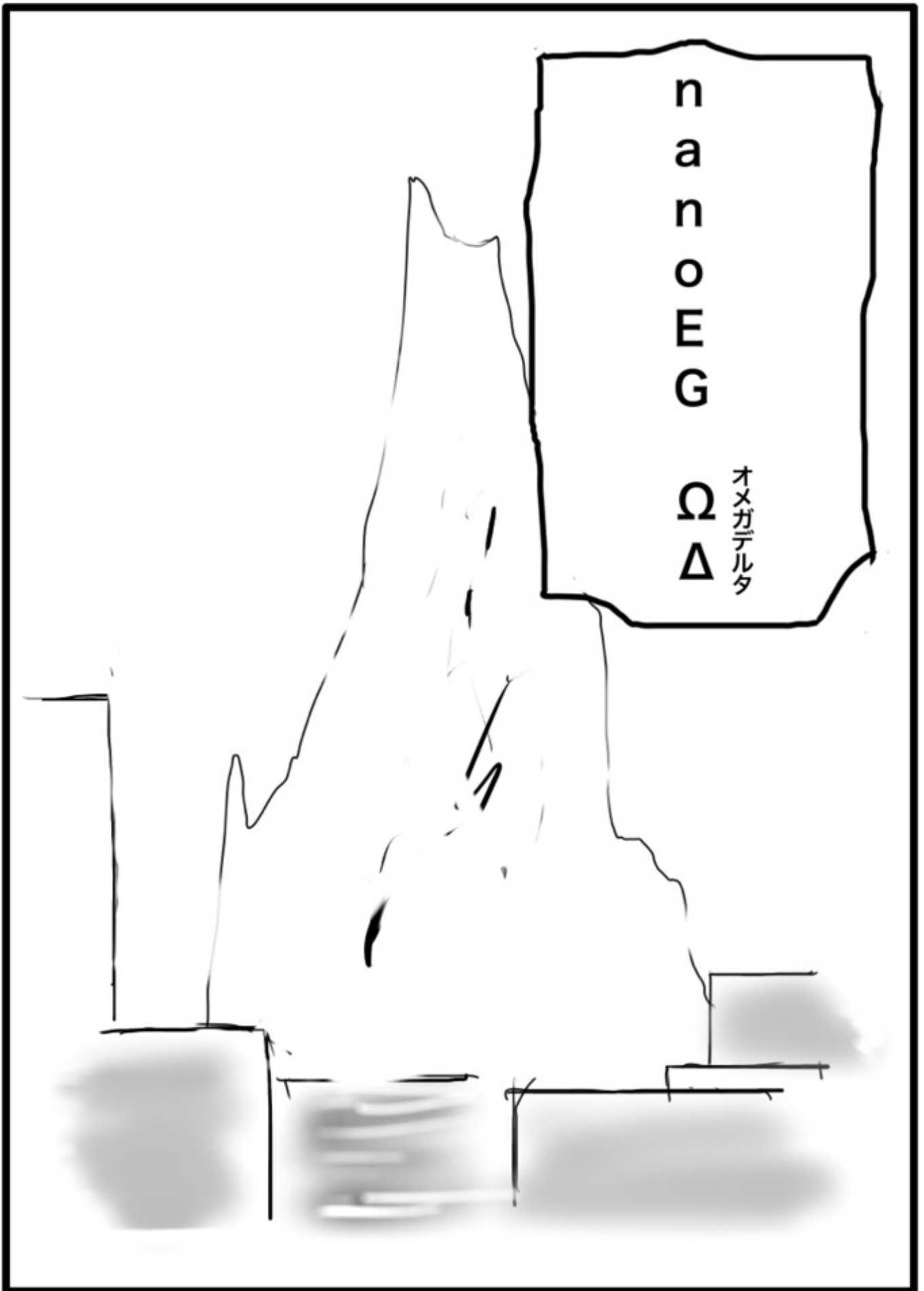


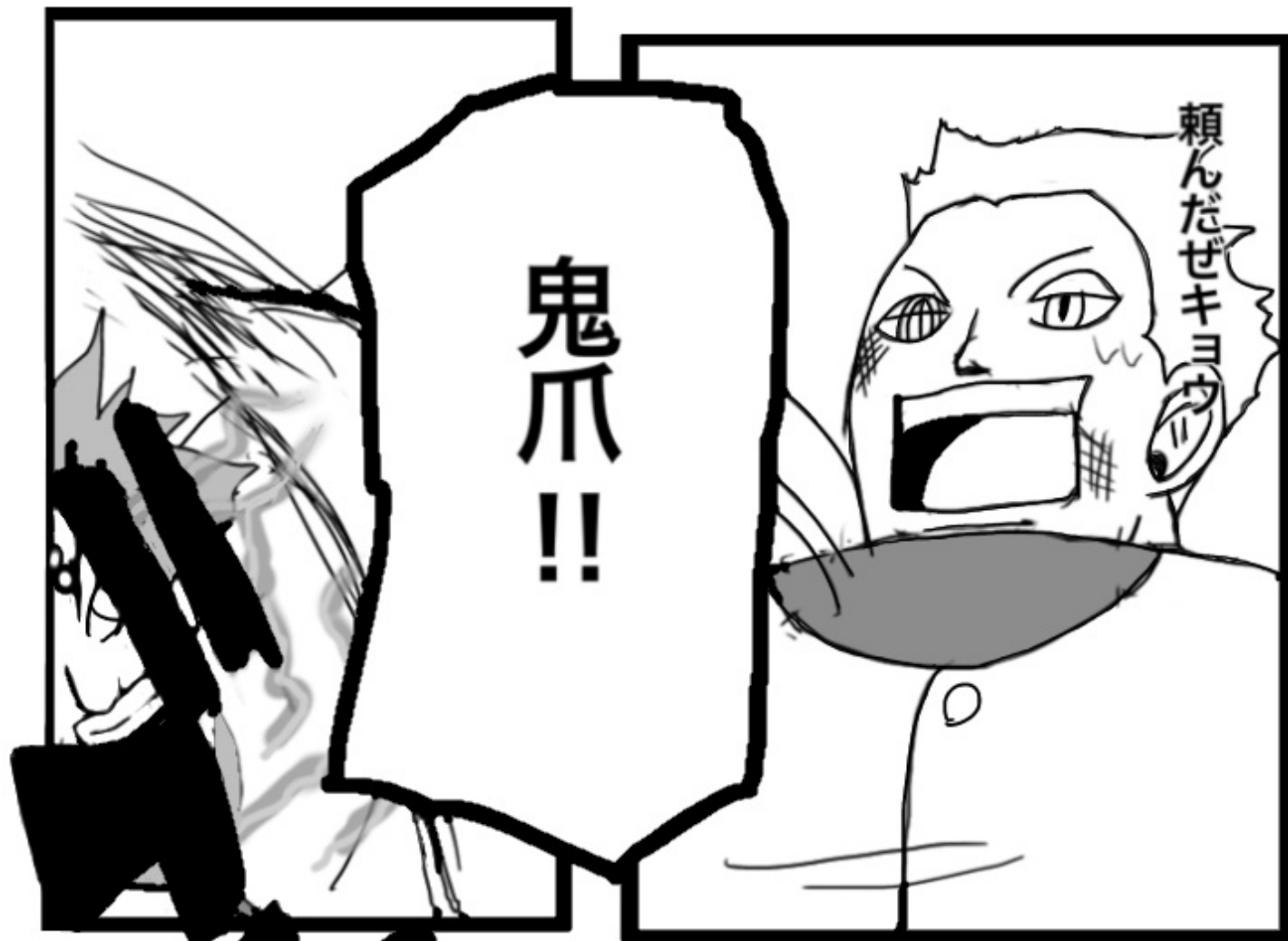


n  
a  
n  
o  
E  
G

$\Omega$   
 $\Delta$

オメガ  
デルタ









鬼族こそが最強であるよ・・・





ちよつと派手にやったか  
これはまずいな  
そうだこの手で行こう  
お客さん



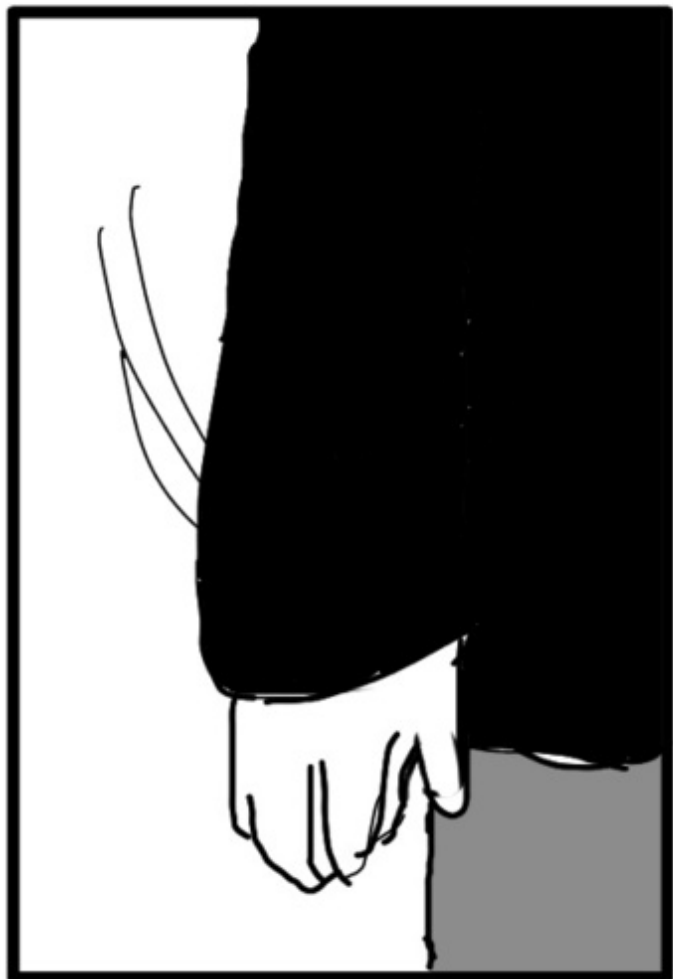


S a i s a k u の者ですが  
ここは問題が起きていて  
いま解決したところです

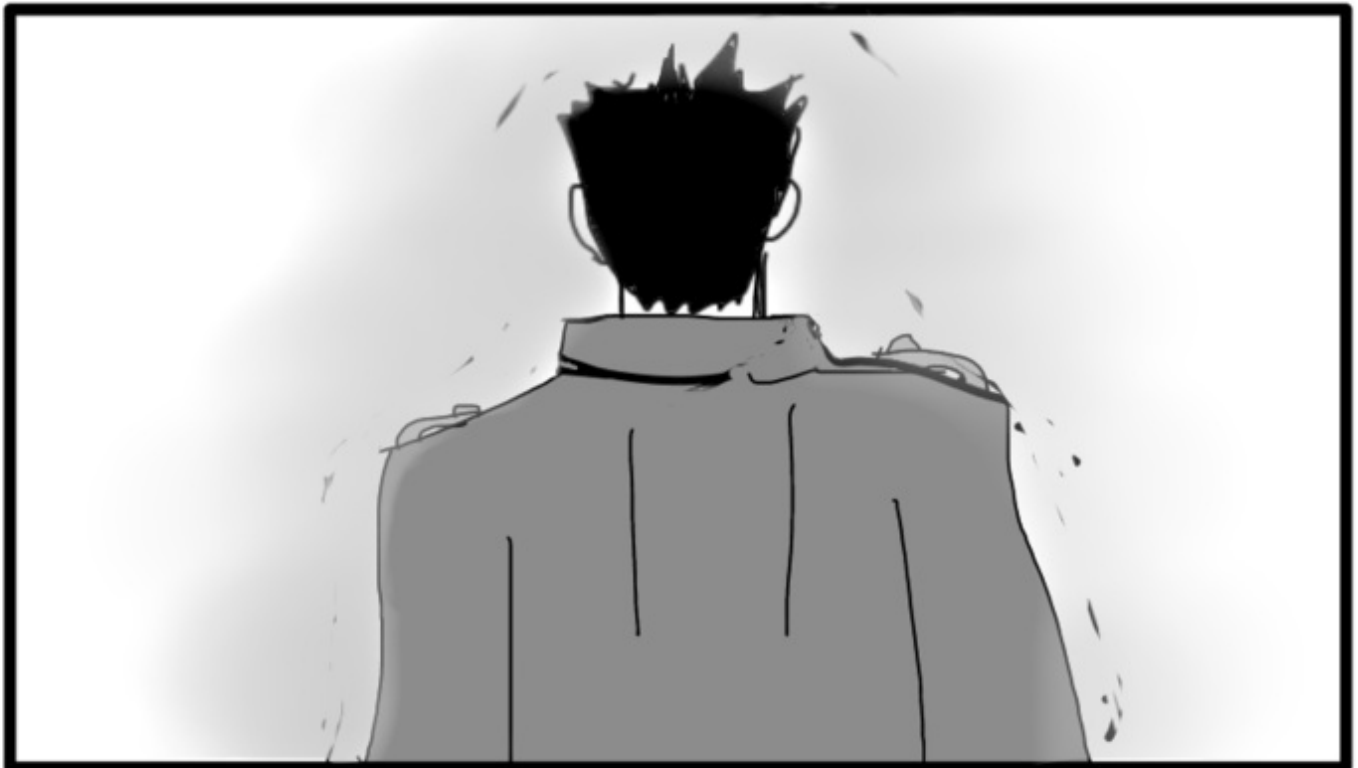


ライアンに勝って  
喜ぶお前はなかなか  
おもしろかったぞ









ようた  
天太  
お前……

すみません父さん  
裁が下されなくて  
俺の判断で  
鉄裁にしました

報告書になんて書こうか  
思いつかなかったので  
遅れちゃいました

S a i s a k u 所属  
きわしま ようた  
鬼輪島 天太  
(23)



Saisaku 烏丸ミミ



Saisaku イヅチ



Saisaku ミヅチ





何を言ってるんだ  
もう終わったんじゃないのか？

天太・・・  
もうじきに  
追いつかれますよ！

しょうがないな  
やっぱり俺達みたいだな  
ここで戦うしかないか

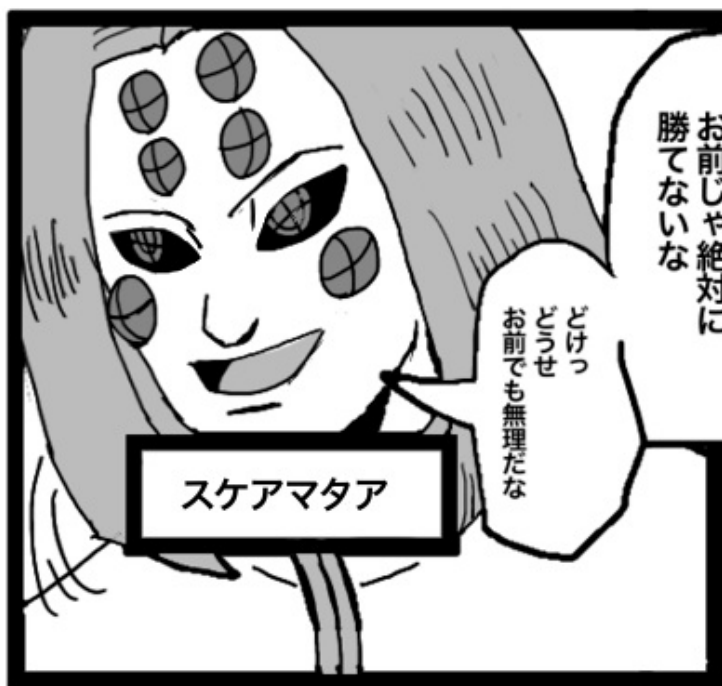
あの者？

すみません  
父さん  
俺達はこちらに  
助けにではなく  
逃げて来たんだ

おじ様あの者達は  
たぶん私と父を追っています  
はつきりとは分かりませんが  
あの者達は烏丸一族と同じ者達  
私達は互いを感知できます  
それが地球を支配する上で  
都合が悪いのでしよう









俺達には再生があるが  
それならズールジャミー  
で良かったんだ  
わざと防衛でも  
しなかったんだらうがな



あいつの技は  
まともに受けると  
まずいな

スケアクロウ


なんだよスケアクローの奴  
見えてないじゃねえかよ！  
不思議な技を使うことは  
確かだけども

ナイトクロー

まあそう言うな  
俺に見えないものは  
お前にも見えないさ

機能が停止したのは  
不思議ではないが妙だな  
俺とした事が倒れ方を  
間違えたか  
腕が折れていたようだ





俺は妖気を  
持っていないんです





この3人は俺が師匠となり  
修行をさせた  
ミツチとイツチはすぐに  
妖気のコントロールを  
して見せたよ  
烏丸の話ではミミも  
変化をせずに空に浮いたらしい

そりゃどーもいーんじょ  
なんだよ……

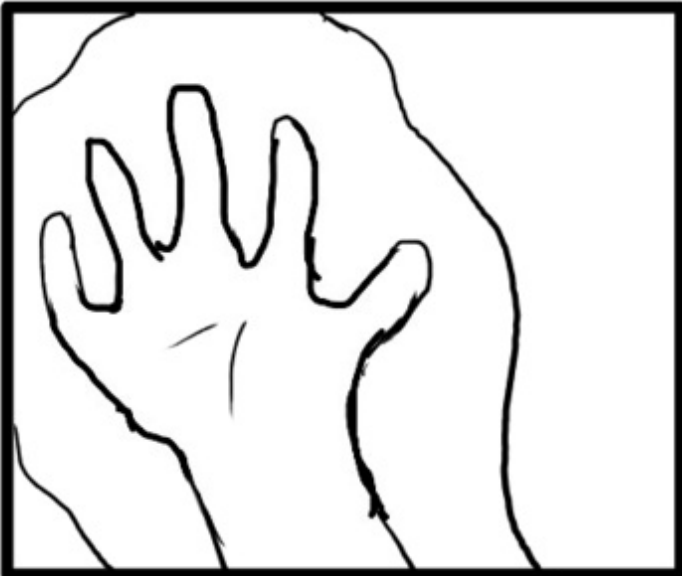
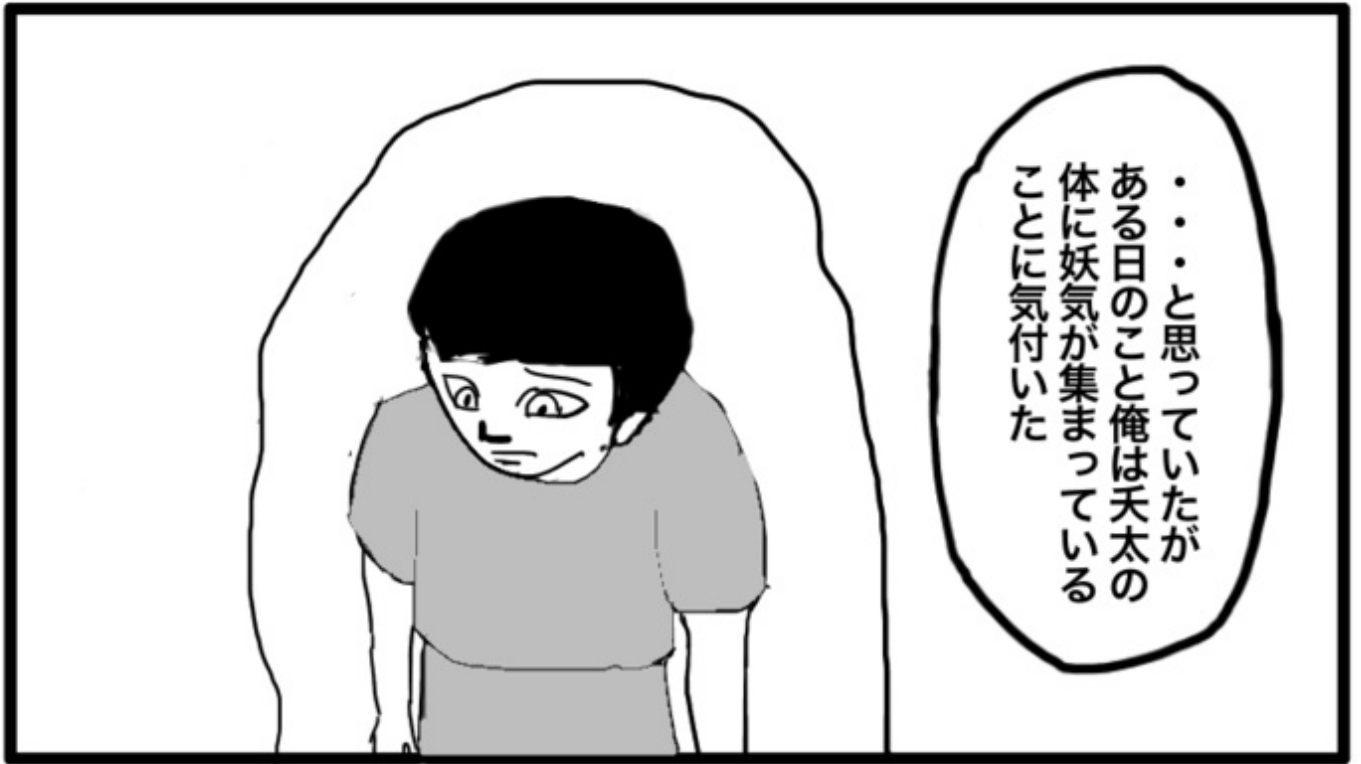
……

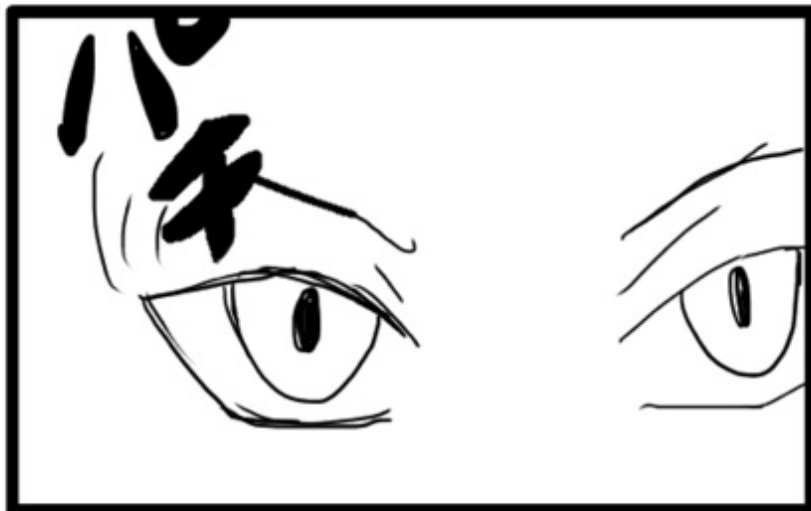


すでにあらゆる技を  
会得していた俺の  
妖魔の末裔のはずの  
息子は皮肉にも  
普通の人間として生まれていた



でも俺の息子の天太は  
何一つ技を  
使えなかった





随分と修行したんだろうな  
ボロボロになって眠っていた

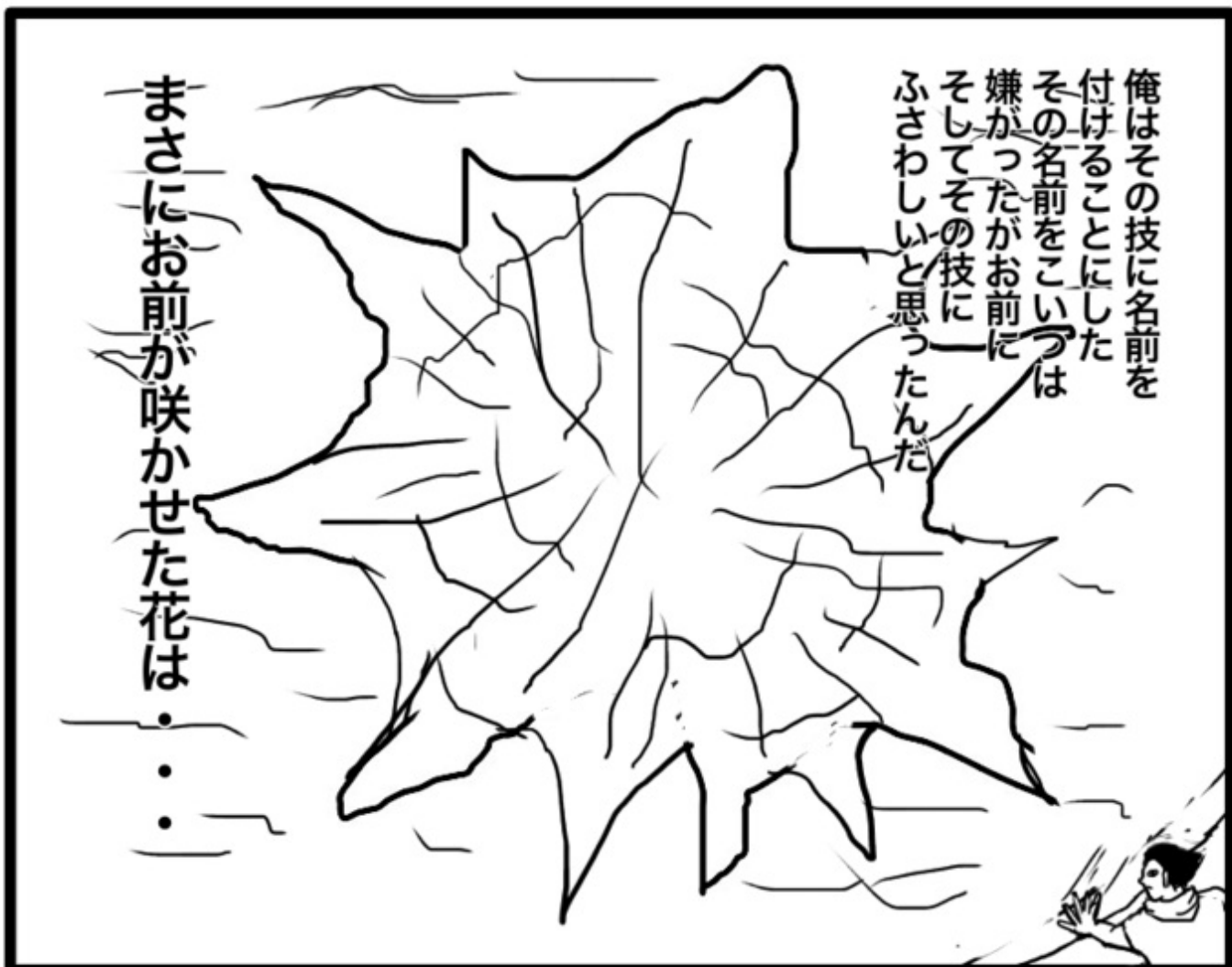


こいつは全く妖気の無い技も  
使えない落ちこぼれだったか  
そこには立派な花が咲いていたよ



俺はその技に名前を  
付けることにした  
その名前をこいつは  
嫌がったがお前に  
そしてその技に  
ふさわしいと思ったんだ

まさにお前が咲かせた花は……



お前だけの  
さいか  
オノ花なんだ





スティールン

あれがクローを一瞬でやった技か俺達にとっては相性は良さそうだ



さいか  
オノ花……



サナギ  
蛹

分かりました  
シンスイ様



カダ  
華娜



俺達の有鱗ゆうりんを使えば  
体術など無意味だ  
それよりもう一人の男が  
感知しづらいな  
意識を遮断できるのか

おいつ……聞こえるかブーズー  
もう一人の男が俺達の秘密を  
知ろうと地球でそちらへ  
向かうはずだ  
お前達で迎えるっ  
いいな……  
烏丸一族の者以外は  
捕らえる DNAを使うのでな